

# パフォーマンス

を

つくる

ヒント

2022年2月17日(木) 13:30 - 15:00  
秋田公立美術大学学生・関係者を対象に  
ZOOM 配信

昨今、美術館やギャラリーでパフォーマンス作品を見ることのできる機会が増えてきました。パフォーマンスは非常に多義的な言葉ですが、いま私たちが「パフォーマンス」と聞いて思い描く形態はいつ頃生まれ、そしてどのように展開してきたのでしょうか？過去のさまざまな作品を道標に、パフォーマーと観客との関係、1回性/再演、ジェンダーのパフォーマティヴィティなど、これからパフォーマンスを見る/作る上で参考になるであろう理論や枠組みを紹介します。

参加申込は2/13(日)まで



キュレーター

外山有茉 / Aruma Toyama

十和田市現代美術館アシスタント・キュレーター。ロンドン大学ゴールドスミスでコンテンポラリー・アート・セオリーを修了後、茨城県北芸術祭キュレトリアル・アシスタント、アーカスプロジェクトコーディネーターなどを経て、2021年より十和田市現代美術館に勤務。